RECRUIT etc… 募集

創業支援総合相談会を開催します

　開業や融資に関する相談、助成制度や補助金の紹介、ビジネスプランの作成相談など、支援機関・団体の担当者が連携して相談に応じます。

日11月29日(月) 10:00～16:00
場市役所本庁
対新しく事業を始めようと考えている人、開業して3年未満の人、新分野への進出などを検討している人
支援機関　尾道地域中小企業支援センター、尾道市、市内商工団体、日本政策金融公庫、ひろしま産業振興機構、全国労働保険事務組合連合会
申込期限　11月24日(水)
申問尾道地域中小企業支援センター（尾道商工会議所内 ☎0848－22－2165）
商工課(☎0848－38－9182)

JA尾道市農業塾生を募集します

出たもん勝ち

受講期間　令和4年1月から1年間(毎月1回の講義)
■野菜園芸コース
野菜全般の基礎知識や栽培技術、管理栽培実習　など
■果樹園芸コース
特産品目のぶどう・桃・いちじく・柑橘の基礎知識や栽培技術、剪定や接木の講習、実習　など
定各コース25人
料年間10,000円(教材費含む)
締12月24日(金)
申問〒722-0051　東尾道13-1
農業塾事務局(JA尾道市営農経済部営農販売課内
☎0848－20－2811)

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。 日日時・期間 場場所 対対象 内内容 定定員 料料金 持持参物 締締切 申申込方法・申込先 問問い合わせ先 ☎電話 FAXファクス e電子メール HPホームページ

自衛官募集

募集種目		受験資格	受付期間(締切日必着)	試験日
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の者(32歳の者は、採用予定月1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者)※詳細はお問い合わせください。	受付中～12月13日(月)	12月14日(火)
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	受付中～12月3日(金)	【1次試験】令和4年1月8日(土)～11日(火)
	一般		受付中～令和4年1月14日(金)	【1次試験】令和4年1月22日(土)・23日(日)※いずれか1日。
				【1次試験】令和4年2月3日(木)～6日(日)
貸費学生	技術	大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く。)修士課程在学(正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))	受付中～令和4年1月14日(金)	令和4年1月29日(土)

問自衛隊広島地方協力本部尾道出張所(☎0848－22－6942)
HPhttps://www.mod.go.jp/pco/hiroshima/
ehq1-hiroshima@pco.mod.go.jp

歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)のパブリックコメント募集

　歴史的建造物とその周辺の整備等により、市街地環境を向上させることを目的とする尾道市歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)を策定するため、次のとおりパブリックコメントを募集します。

公表期間・意見募集期間　12月1日(水)～令和4年1月4日(火)
公表場所　市HPか市役所本庁、各支所
対市内在住か市内に通勤・通学している人
市内に事務所または事業所を有する個人か法人その他の団体
市に対して納税義務を有する人
パブリックコメント手続に係る事案に利害関係を有する人
意見書提出方法　持参か郵送、FAX、Eメールで
※持参の場合はまちづくり推進課・各支所で受理。
※意見書の書式は自由(住所・名前の記載は必須)。参考書式は市HPからダウンロード可。
申問〒722-8501　久保一丁目15－1
まちづくり推進課(☎0848－38－9223　FAX0848－38－9295)
e toshi@city.onomichi.hiroshima.jp

14 海の豊かさを守ろう　尾道×SDGs

海の豊かさを守る挑戦

　国連が掲げる、持続可能で多様性のある社会を目指すための17の目標「SDGs」。その14番目の目標「海の豊かさを守ろう」の実現に向け、尾道市内ではさまざまな取り組みを進めています。
　持続的な管理や保護を行いながら、海と沿岸の生態系を回復させるために取り組んでいる2つの挑戦をご紹介します。

問農林水産課(☎0848－38－9478)

■SDGsとは?
　2015年9月の国連サミットで採択された、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標のことです。
　2030年を年限とした、17の世界的目標を中心に、169の達成基準、232の指標で構成されています。

挑戦1 アサリを中心とした生態系の回復

　アサリは、尾道市を代表する食材ですが、近年危機的な状況にまで激減しています。市内では漁業者自らが、研究者らの指導を受けつつ、アサリ資源の回復に取り組んでいます。また、アサリは海水の浄化機能を有しており、アサリ資源の回復は、持続可能な「海の豊かさを守る」取組に重要な役割を担っています。
　アサリを中心とした生態系の回復に向け、尾道市は、広島大学、中国電力、松永湾水産振興協議会と4者で覚書を結び、「Hi(ハイ)ビーズ」を用いてアサリの生息地を再生させる実証試験を行っています。
　Hiビーズとは、石炭灰を粒状にしたもので、栄養塩を吸着したり、硫化水素を固定する特性があり、海底に敷設することによって水質を改善させたり、赤潮を抑制したりする効果が期待されています。
　令和2年11月から行っている実証試験ではアサリの増加が確認され、かつてのように尾道がアサリの産地として再生することを期待しています。

挑戦2 稚魚の放流で水産資源を維持

　各漁業協同組合と尾道市が連携し、稚魚や稚貝の放流を行い、水産資源の増大に取り組んでいます。
　放流を行っている魚種は、アコウ、メバル、ヒラメ、クルマエビ、ワタリガニ、アサリなどです。

VOICE

漁師さんに聞く! 最近の海はどうですか?

尾道漁業協同組合
代表理事組合長
藤川伸一さん

　ここ数年、海水温が上昇してきており、魚の生息地が変わってきています。水温が低い所を好む魚種は減少している一方で、水温が高い地域を好む魚は増加しています。
　全体的な漁獲量は減少傾向にはありますが、アコウなど放流事業を行っている魚種は、安定的に水揚げされるようになりました。高級魚であるアコウは、たくさん獲れても魚価が下がらないので、漁業者にとってはありがたい存在です。